

GIGABYTE™

GIGABYTE

P37 USER'S MANUAL
使用手冊

日本語



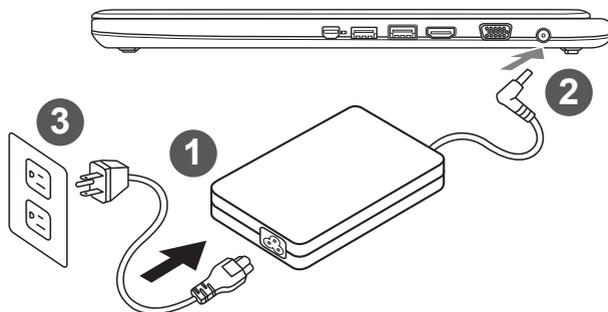
* Images Used for Reference Only

V3.0

GIGABYTEノートパソコンのご購入ありがとうございます

ノートパソコンをうまく使わせるため、ここで特別にご説明いたします。本製品に対して、より知りたい場合には、GIGABYTEのウェブ・サイドwww.gigabyte.comに捜せそして調べられます。製品の実際スペックは出荷スペックを基準にしますので、変動がありましたら、お知らせ致します。ご了承ください。

初めて、GIGABYTEノートパソコンを使う場合

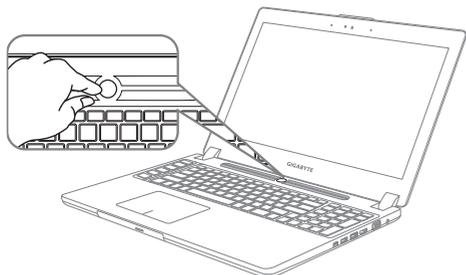


- 1 電源ケーブルをアダプターに繋がって下さい
- 2 アダプターをパソコン本体の電源口に繋がって下さい
- 3 アダプターのケーブルを電源口座に繋がって下さい

⚠️ ご注意

- 初めて使い、起動させる時、機体本体はアダプターに接続して下さい。
- 電源に接続するモードでの使用に、できる限りアダプターは電源のソケットに近づき、使った方が便利です。
- パソコン本体のインプット / アウトプットのレーティング・ラベルを探して、アダプターのインプット / アウトプットのレーティング・インフォメーションをご確認ください。
- 電源・アダプター・インフォメーション：

- 輸入電圧：100-240Vac - 輸入周波数：50-60Hz - 輸出電圧：19V or 19.5V



ノートパソコンを起動

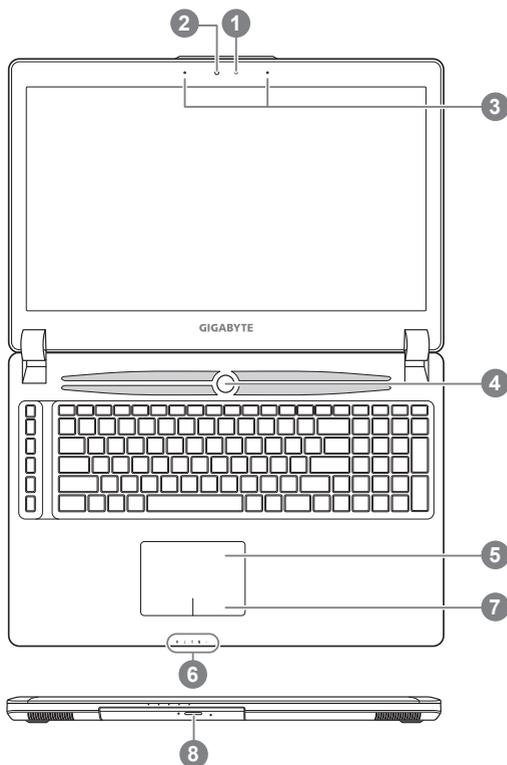
電源指示ライトは、機体の通電状態を表します。初めて起動する時、作業システムに完全に入り済む前に強制的にTurn Offしないでください。電源起動後、作業システム配置完成する前に、音量は設定できませんのでご了承ください。

一回目の使用について

最初の設定に基づき、初めて起動の場合に、最初の画面は必ずマイクロの起動画面です、画面に現す提示と指示に従い、作業システムの設定を完成してください。ソフトウェアの使用許可を同意する前に、是非規範内容を実際に読んでください。

GIGABYTEノートパソコンのご案内

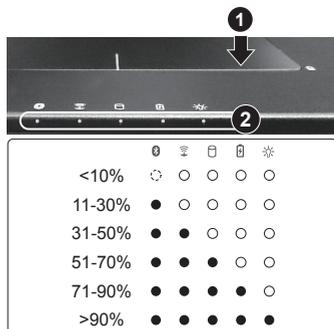
上面図&正面図



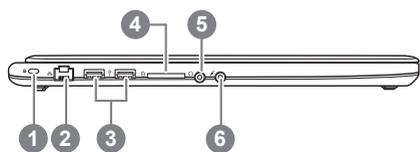
- 1 ウェブカメラ状態表示LED
- 2 マイクウェブカメラ
- 3 光センサ
- 4 マイクx2
- 5 スピーカー
- 6 LED状態指示ライト①
- 7 バッテリー指示ボタン②
- 8 交換できるストレージの空間

- ① ③ プルートゥース指示ライト
④ 無線インターネット指示ライト
⑤ ハードディスク資料読取/保存指示ライト
⑥ 充電指示ライト
※ 電源状態指示ライト

- ② 右ボタンを押したら、バッテリーの残量を確認できます。シャットダウン/スタンバイ/睡眠モードに右ボタンを押したら、指示ライトを通じて、バッテリーの残量を確認できます(電量対照如下圖バッテリーの容量は下記図面の如く)(電池模式下バッテリーモードの場合)

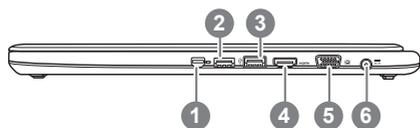


左側面図



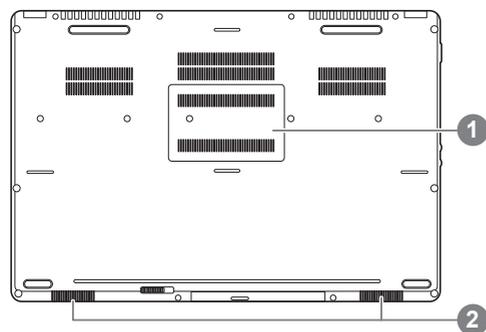
- 1 Kensington盗難防止用ロック
- 2 イーサネット(LAN)ポート
- 3 USB 2.0 ポート
- 4 SDカード・リーダー
- 5 ヘッドフォン/イヤホン・ジャック
- 6 マイク・ジャック

右側面図



- 1 Mini-Displayポート
- 2 USB 3.0 ポート
- 3 USB 3.0 ポート(USB充電)
- 4 HDMIポート
- 5 外部モニター(VGA)輸出ポート
- 6 電源ジャック

底面図



- 1 メモリー・スロット
- 2 スピーカー



ご警告：

本機体内蔵式のリチウムイオンは取り外せない部品で、取り外したい場合にはGIGABYTEの販売許可あるいは修理許可であるサービス・センターよりご処理頂きお願いいたします。

ホットキー

ノートパソコンのセッティング：例えばモニターの明るさ、スピーカーの音量などの設定はホットキーで直接に調整できます。使い方について、下記整理表の如く、先に <Fn> キーを押しながら <F1>~<F12>などのキーを押して調整します。

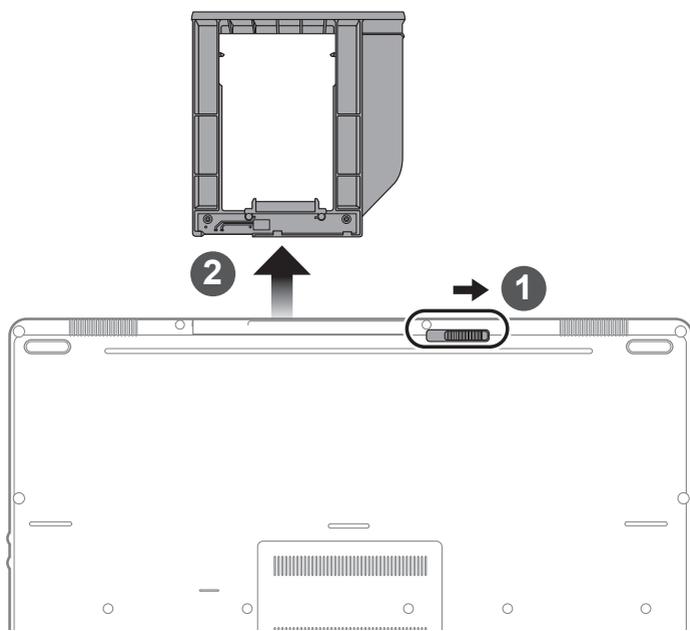
ホットキー	機能	説明
Fn+ESC 	ODD取り出す	CD-ROM、DVDなどの記録メディアをドライブから取り出すこと
Fn+F1 	睡眠モード	パソコンを睡眠モードに入ること
Fn+F2 	無線インターネット	オン/オフ 無線インターネット装置
Fn+F3 	明るさを弱める	スクリーンの明るさを弱めること
Fn+F4 	明るさを強める	スクリーンの明るさを強めること
Fn+F5 	画面顯示切り替え	本体あるいは外部輸出への切り替え/同時顯示
Fn+F6 	タッチパッド・スイッチ	オン/オフ タッチパッド
Fn+F7 	スピーカー・ミュート	スピーカーをミュート・モードに切り替えること
Fn+F8 	音量を弱める	スピーカー音量を弱めること
Fn+F9 	音量を強める	スピーカー音量を強めること
Fn+F10 	スクリーン・スイッチ	オン/オフ スクリーン
Fn+F11 	WiFi / Bluetooth・スイッチ	オン/オフ WiFi / Bluetooth通信装置
Fn+F12 	Webカメラ	オン/オフ 内臓式ビデオカメラ
Fn+Space 	キーボードのバック・ライト	キーボードのバック・ライトを調整すること

マクロキー

使用者はマクロキーを使い、必殺技や特定のコマンド入力で複雑な連続操作あるいは一般操作のニーズを遂行できます

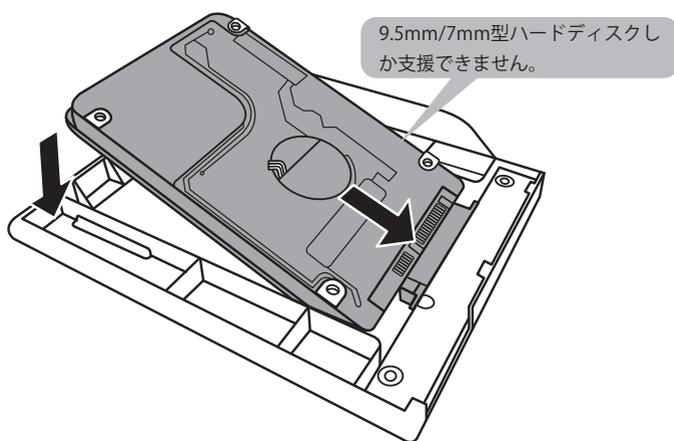
ホットキー	機能	説明
	マクロ・グループ切り替えキー	セッティングしたマクロ・グループへ切り替える機能で、押したままの3秒時間でマクロキーを開閉できます
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング
	自己定義マクロキー	使用者が自ら決定したセッティング

交換式ストレージ・フレーム



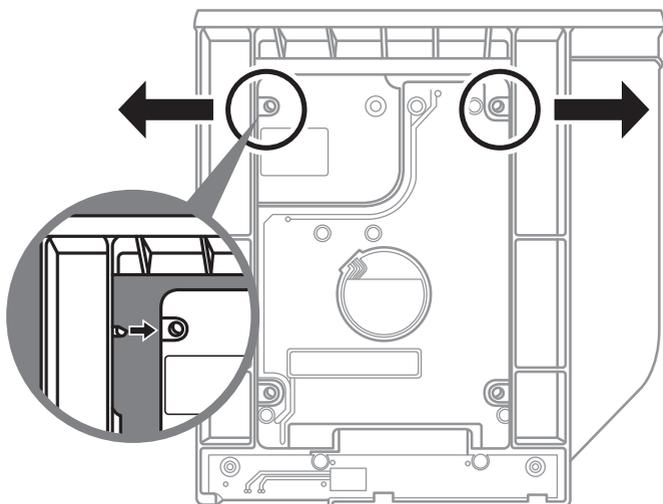
1 ODDの錠を外れます。

2 ODDあるいは交換式ストレージ・フレームを引き出してください。

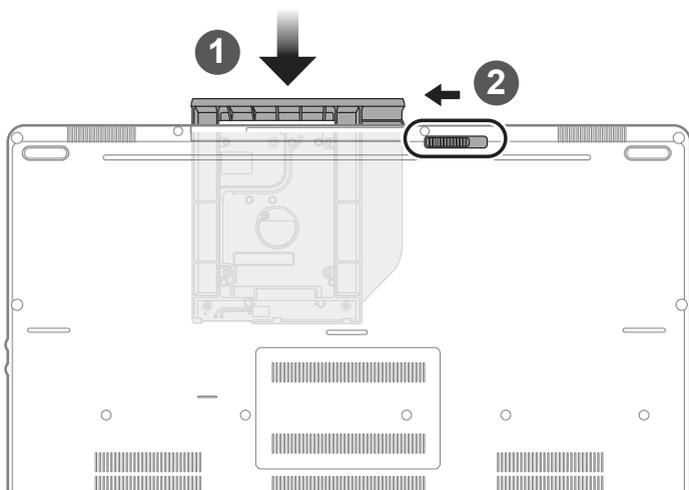


9.5mm/7mm型ハードディスクし
か支援できません。

SSDあるいはHDDのピンをコネクタに接続してください。



穏やかにハードディスクをフレームの中に押し込んで、本当に固定させた場合には、軽い音が聞こえます。



- 1 ODDあるいは交換式ストレージ・フレームを本機体の中に押し込んでください。
- 2 ODDの錠をロックしてください

Macro Hub ご紹介

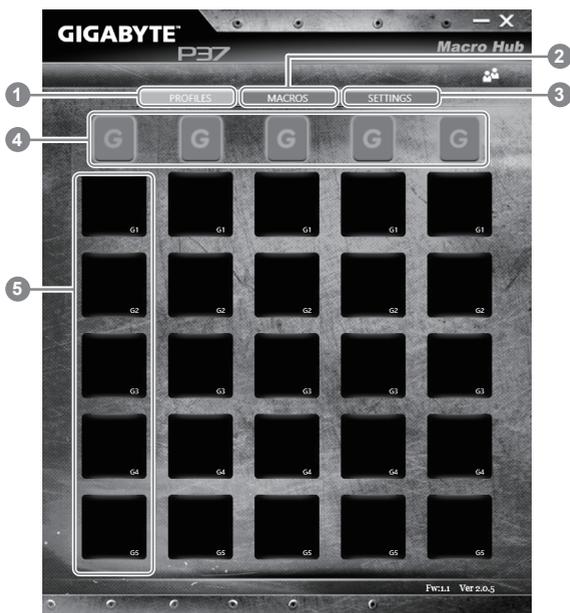
Macro Hubのご使用ありがとうございます。Macro Hubを使い、P37のマクロキーを気楽にコントロールしましょう！！単一のキーで同時に複数のファンクションを操作することができます。仕事でもいいし、ゲームにも自分意思の通り遂行できます。Macro Hubを使用する前に、下記の使用説明をお読みください

1 Macro Hubをはじめます



デスクトップからMacro Hubの図面を探し、クリック2回してください

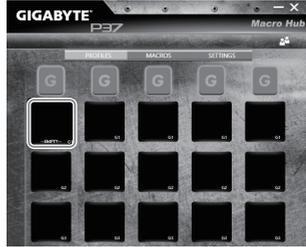
2 Macro Hubの概観



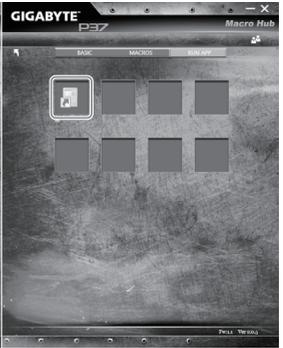
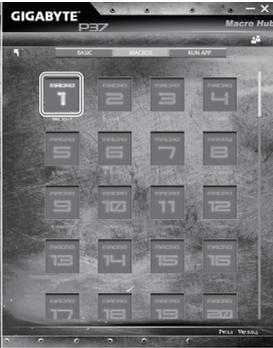
- 1 基本ファンクション：今までのセッティングを顯示します
- 2 マクロキーのセッティングを更新あるいはキャンセルします
- 3 他の設定：Macro Hubの設定を更新あるいは設定をセットし直します
- 4 マクロキー・グループ使用開始の指示ライト：マクロキー・グループを使用し始めることを顯示します（マクロキー・グループはオンの状態であれば点灯となります）
- 5 マクロキー・ファンクション:今使っているマクロキー・グループのマクロ・ファンクションを顯示します（全体には5つファンクションがあり、G1からG5まで）

3 Macro Hubの使用

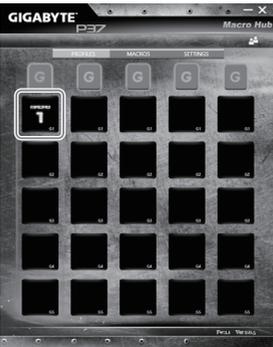
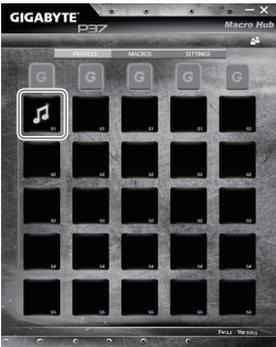
1 マクロキー・ファンクションのセッティング



- a. キーボードの左上側のGキーで使いたいマクロキー・グループに切り替えます
- b. マクロキー・ファンクションのブリックをクリックしてください

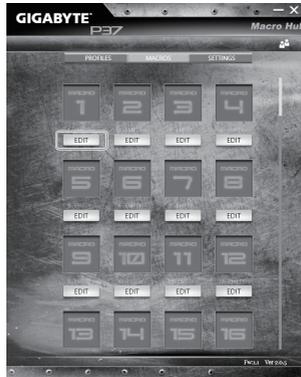


- c. どんなファンクションをつきたいのかを選んでください（例えば：ブラウザを開けること）、ダブル・クリックする必要があります。これからシステムから保存してはいいという質問を顕示、Yesを押して、記録させます

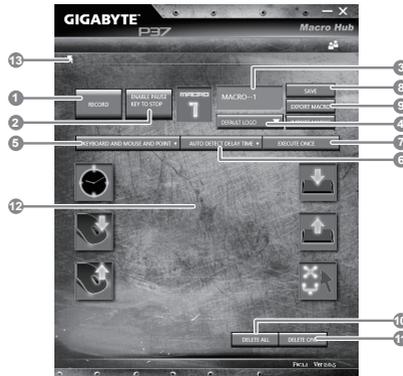


- d. セッティングを記録させます

2 マクロキー・ファンクションの設定と編成



a. マクロ編集（Macros edit）をクリックしてください、最大限は100セットまで



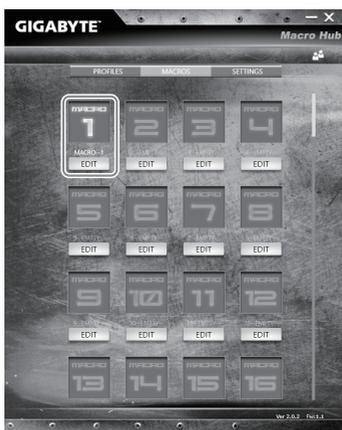
b. マクロ編集の概観（自分ならではのマクロ設定を編集できます）

1. 記録開始：クリック後、マクロ設定を記録し始めます
2. 記録停止：マクロ設定に対する記録を停止
3. マクロ名称：マクロに対して、名付けます
4. 図面ファイル挿入：マクロに図像をつけるということです。内部のシステムでつけてもいいし、外部からアップロードあるいは挿入しても使えます
5. 記録範囲：単なるキーボードあるいはマウスの動きを記録しますか、同時に記録しますかを選択できます。
6. 間隔時間：各動きの間隔時間を記録しますか、あるいはある動き、動作の間隔時間をきろくしますかということをシステムでセッティングできます。
7. 執行方式：執行方式を選択・設定できます（一回だけの執行、繰り返す執行など...）
8. 輸出マクロ：記録したマクロを保存そして輸出
9. 入力マクロ：前に記録したマクロあるいは他人のマクロを入力
10. 削除全部：マクロにおけるあらゆる動きを削除します

11. 削除選択：マクロにおけるある特定の動きを削除します（選択次第）
12. 動きのリスト：記録した動きを顯示します
13. Exit：記録したマクロを保存しますかをお聞きにします

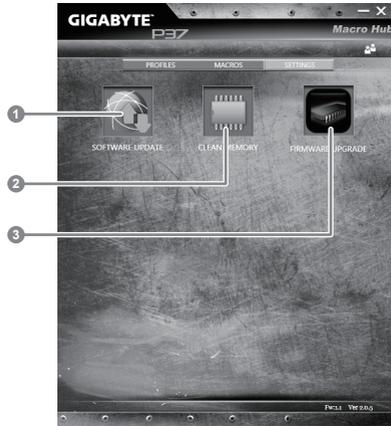


- c. マクロの記録を開始：スタートのボタンをクリック、マクロ編成の記録をします。あらゆる動きは動きリストにあらわされました。貴方は記録範囲で、「pause」ボタンあるいはマウスを使い、記録の停止を決めます。記録完成：あらゆる動きを入力後、「保存」をクリック、記録させて、編成を完成させます。



- d. マクロ・ファンクション編成を完成させます

3 マクロ・ハブの編成とセッティング



- 1.ソフト・ウェアの更新：GIGABYTE マクロ・ハブを更新します
- 2.セッティングのキャンセル：保存したセッティングをキャンセルします
- 3.ファームウェア更新：マクロのファームウェアを更新します

RAID 0/1システムの設定説明

⚠️ ご警告

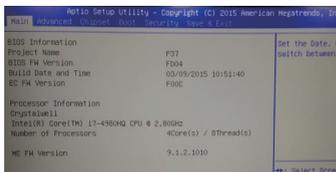
- 自分で RAID 0/1 システムを設定したり使用する前に、設定の誤操作とミスを防ぐため、資料のバックアップを予めしてください。
- RAID 1 の設定において、2 つ同じスペックと容量のストレージが必要です。
- RAID 0 の設定において、2 つ同じスペックのストレージは必要ですが、ストレージの容量は違っていてもいいです。

1



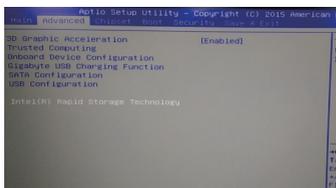
- RAID を設定したいハードディスクをシステムに配置してください (2 つは必要)、パソコンをスタートしてください。

2



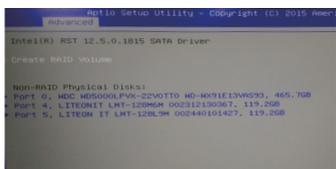
- スタートしてから、F2 を押してください。F2 を押すと BIOS の画面に入ります。

3



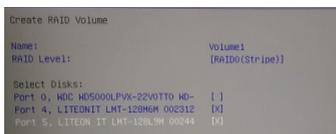
- 右ボタンを押し、[Advanced] メニューの画面に入って、[Intel Rapid Storage Technology] を選んでください。

4



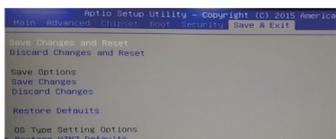
- [Create RAID Volume] を選んでください。

5



- [X] というマークで RAID0 を構築したいハードディスクを選んでください。今回の範例は SSD 2 つを選び RAID0 を構築します。2 つ選んでから Create Volume を選んでください。

6



- RAID の構築を完了します。Save & Exit のページに保存して、再びスタートしてください。そうすれば、作業システムは新規ディスクの中にインストールできます。

Smart USB Backup の使用ガイド

(旧 : Recovery Image USB)

⚠ 注意

- この作業を行うことによって、パソコンが損傷を負ったことが原因で image データの紛失を防ぐために、この作業によって事前にバックアップをとっておきます。
- 新しいストレージデバイスを交換する場合は、USB フラッシュドライブに元のイメージのバックアップを復元するには、このソフトウェアを使用することができ、新しいストレージデバイスをインストールしてから、工場出荷時のデフォルトのシステム新しいストレージデバイスに戻っていらて。
- リカバリー USB を使用してシステムの復元を行う前に、データのバックアップがされていることを確認してください。
- リカバリー USB を使用して、システムの復元を行っている最中は、シャットダウンをしたり、電源コードを抜いたりしないでください。

1



- 20GB 以上の USB メモリを用意して、パソコンに挿入してください。(USB 内のデータは、リカバリー USB の作成によって全て削除されますので、先に USB 内のデータのバックアップをとってください。)

2



- オプティカルドライブにドライバーディスクを挿入し、「Smart USB Backup」をインストールします。(CD/DVDドライブのない機種の場合は、外付けドライブを使用してください。ソフトウェアがない場合は、<http://www.gigabyte.com> からダウンロードしてください。)

3



- インストール完了後、デスクトップ上の「Smart USB Backup」を起動させてください。

4



- ドロップダウンリストの中から先ほど挿入した USB メモリを選択し、recovery USB の作成を開始してください。

5

- リカバリー USB の作成が終了すると、ポップアップ画面が現れます。
- システムの復元を行うには、コンピュータを起動した際 F12 キーを押してください。「USB メモリを使用して復元する」を選択すると、システムの復元が始まります。
- システムの復元には、約 30 分ほどの時間が必要です。(所要時間は USB メモリの種類によって異なります。)

リカバリーガイド

システムリカバリ（オペレーティングシステムの修復）

オペレーティングシステムに何らかの異常が発生した場合、システムの完全バックアップイメージが構成されているストレージ装置内リカバリ領域を使い、オペレーティングシステムを工場出荷時の初期状態に復元します。



注意

- ストレージ装置を交換、もしくはリカバリ領域を削除した場合、リカバリオプションを使用することはできなくなります。カスタマーサービスセンターでの修理が必要です。
- リカバリ機能は OS がプレインストールされた製品に限り有効です。DOS 製品については、リカバリ機能はサポートされておりません。

システムリカバリーの起動

リカバリ機能は、工場出荷時にプレインストールされています。オプションメニューより Windows リカバリツールを起動させ、オペレーティングシステムを再インストールし初期化してください。

以下、リカバリツール起動方法とシステム復元方法の説明です。



リカバリ実行前の注意

PC がコンセントに繋がっている事を確認してください。作業完了には数分要します。

Windows 7 リカバリガイド

1 シャットダウン後、PC を再度起動させてください。

2



起動後、F9 キーを数秒間押ししてリカバリツールを起動させます。

3



リカバリモードに進むと、ツールメニュー内にリカバリオプションが現れます。確認後、“Recovery” をクリックするとリカバリが開始します。



注意

リカバリを選択すると、全ての個人データやファイルが削除されます。オペレーティングシステム及びドライブは出荷時の初期状態に復元されます。

4



プログレスバーが現れ、リカバリが始まります。この時、ACアダプターがコンセントにしっかり繋がれていることをご確認ください。作業完了まで電源を切らないでください。

5



システムリカバリ完了後、PCを再起動させてください。

Windows 8.1 リカバリガイド

1

シャットダウン後、PCを再度起動させてください。

2



起動後、F9 キーを数秒間押してリカバリツールを起動させます。

3



“Troubleshoot” を選択し、リカバリ設定へと進みます。

（“Continue” を選択すると、Windows 8.1 から直接リカバリ前の個人データやファイルのバックアップができます。）



2 通りのシステムリカバリ方法。

- **Refresh your PC - PC の再セットアップ**
ソフトや設定不良による問題が発生した場合、再度セットアップし直すことで、データを失わずに修復することができます。
- **Reset your PC - PC の初期化**
ソフトや設定不良による問題が発生した場合、PC を初期化し工場出荷時状態に復元します。その際、全ての個人ファイルが削除されます。
注意：全ての個人データとファイルは消失します。



- Refresh your PC - PC の再セットアップを選択した場合
継続するアカウントを選択してください。



注意事項

- ノートブック内個人設定は変更されません。
- ノートブックの設定は工場出荷時の初期状態になります
- Windows ストアからインストールしたアプリケーションはそのまま引き継がれます。
- ウェブサイトやDVD等からインストールしたアプリケーションは削除されます。
- 削除されたアプリケーションのリストはデスクトップに保存されます。



- Reset your PC - PC の初期化

▶ Just remove my files - 個人ファイルのみ削除

個人ファイルのみ削除し、PC 設定はそのままにします。

▶ Fully clean the drive - 完全に工場出荷時の初期状態に復元します。

ドライブを工場出荷時の初期状態に復元します。その場合、作業完了には比較的長い時間を要します。> 【“Reset” をクリックしてリカバリを実行をします。】。



注意事項

- 全ての個人ファイルとアプリケーションは削除されます。
- 全ての設定は工場出荷時の初期状態に復元されます。



- Advanced options - その他のオプション

上記の他、更にいくつかのリカバリ設定があります。



System Restore - システムの復元

システム復元記録を選択すると、その記録時のシステム状態へ復元することができます。復元時から指定記録時までの間の個人データとファイルは消失します。



System Image Recovery - システムイメージリカバリ

以前バックアップしたシステムイメージデータを使い、Windows を復元します。



Automatic Repair - 自動修復

自動修復及び Windows システム不良の解決をします。



Command Prompt - コマンドプロンプト

コマンドプロンプトを使い高度なトラブルを解消します。



UEFI Firmware Settings - UEFI BIOS 設定

再起動し、UEFI BIOS 設定を変更します。



スタートアップの設定

Windows の起動動作を変更。

付属品

■ 保証及びサービス：

保証及びサービス内容、関連情報については、保証書もしくは GIGABYTE ホームページをご確認ください。

<http://www.gigabyte.com/support-downloads/technical-support.aspx>

■ よくある質問：

よくある質問につきましては、以下 URL からご確認ください。

<http://www.gigabyte.com/support-downloads/faq.aspx>

